該当項目	- <u>事风槓評疋妛禎 R5.4改正 新旧对照表</u> 改 正 前	改正後	備 考
要附則	附 則 (施行期日) 1 この要領は、平成9年10月1日から施行する。 2 この要領は、平成14年4月1日から施行する。 3 この要領は、平成18年4月1日から施行する。 4 この要領は、平成19年4月1日から施行する。 5 この要領は、平成19年10月1日から施行する。 6 この要領は、平成23年4月1日から施行する。 7 この要領は、平成25年4月1日から施行する。 8 この要領は、平成27年4月1日から施行する。 9 この要領は、平成27年4月1日から施行する。 10 この要領は、平成30年4月1日から施行する。 11 この要領は、平成30年4月1日から施行する。 11 この要領は、令和2年10月1日から施行する。	W	改定年月日の追加

数数項目		事成績評定要領 R5.4改止 新旧対照表	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	/# *
加記様式第3 本版 複 評 定 表	該当埧日	以上則	以上发	順
	該当項目 要領 別記様式第3	放 正 前 対	工事成績 評定表 (年 月 日 日 所属名: 原 (李助所) エ 事 名 類 当初 V 教称 V 教称 V 日 別 教称 V 日 別 日 別 会和 年 月 日 から 会和 年 月 日 第1回: 合和 年 月 日 第2回: 令和 年 月 日 第 分 検 変 年 月 日 第1回: 令和 年 月 日 第 2回: 令和 年 月 日 第 3 分 検 変 年 月 日 第 1回: 令和 年 月 日 第 3 分 検 変 年 月 日 第 4 元 年 任 ・ 監 理 技 術 者 氏 名 生 任 ・ 監 理 技 術 者 氏 名 生 任 ・ 監 理 技 術 者 氏 名 第 二 次 評 定 者 所 異 ・ 氏 名 第 二 次 評 定 者 所 異 ・ 氏 名 第 二 次 評 定 者 評 定 点 ②第 一 次 評 定 者 評 定 点 ② 第 一 次 評 定 者 評 定 点 ② 第 一 次 評 定 者 評 定 点 ② 総 合 評 定 者 評 定 点 点 ② 総 合 評 定 者 評 定 点 点 ② 総 合 計 ② 戸 (① × 0.4 + ② × 0.2 + ③ × 0.2 + ③ × 0.2) - ⑤ 部分検査がなかった場合 野皮点合計 ⑤ 戸 (① × 0.4 + ② × 0.2 + ② × 0.4) 一 ⑤ 2) 部分検査がなかった場合、評定点は部分検査を合わせた平均点を記入する。 3) 面に、 (1) 第 一 次 (2) により か 1 ま 一 次 (3) により 2 ま こ 大 (3) により 2 ま こ 大 (4) 第 一 次 (4) 第 2 か 1 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま	監理技術者補佐の追加

該当項目	争 放 槓 評 正 安 禎	改正後	備考
運用 土木工事成績 評定 様式	考査項目別選用表 (第一点資金を) (第一点浸金を)	第五項目別運用表 (第一点日本日)	監理技術者補佐等の追加
考査項目別運 用表	□ 数正が発生してお客を指定している。「特別者は200 公主したがあり □ 高度が行っている。「特別者は200 公主したがあり □ 高度が行っている。「特別者は200 公主したがあり □ 高度が行っている。「明月者は200 公主したいる。「明月者は200 公主したいる。」 □ 周田の下記での特別者を持ちませいる。 □ 周田の下記での特別者を持ちませいる。 □ 日本の下記では、公共の第20 公主を持ちませいる。 □ 日本の下記では、日本の下記では、日本の下記では、日本の下記を持ちませいる。 □ 日本の下記では、日本の下記を持ちませいる。 □ 日本の下記を持ちませいる。 □ 日本の下記	□ 命物の心臓性、単江番の傾向性が生活が出ている。 □ 高田田州・田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	
別紙一1①		② (3. 大型性の性 (1997年)	
別紙-2④	考査項目別運用表 (第二次并まむ)	799-10	
)3112V	7. かき青年年 □ 186年23 × FULL 日東 円 □	7. おの妻で等	監理技術者補佐等の追加
	□ 1. 生物の (■ 直払上の場合が行われなかった場合 □ B その様	社会保険等未加入業者の対応について追加

<u> 田米宗廷改工</u> 該当項目	事 <u>成績評定要領 R5.4改正 新旧対照表</u> │ 改正前 以正前 以 で	備考
運用		un · J
土木工事成績評定 様式	「施工プロセス」のチェックリスト(楽)	
「施工プロセス」のチェックリ	- 元牌会人が欠り7度工事の第三に実施的	
スト(案) 別紙-5②	日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	監理技術者補佐等の追加
	Company Comp	
	No. No.	
	Care	

山梨県建設工事成績評定要領の運用 建築工事 R5.4改正 新旧対比表

該当項目	- 尹 火 収 1	<u> 半定要領の連用 建築工事 R5.4改正</u> 改正前	· 제미기나소	改正後	備	考
別紙1一⑪ 5. 創意工夫 I.創意工夫		以正 刑		以正汉	UH3	73
	1961-0	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(質器工事) 本事を本名 本事を本名 日	(B-655E) BREANS	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(常確工事)		
		□ 自然地上の開発します。他最早、報告計算の工夫 □ を含った地上の「おります」とは、「日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (TIMESON TIMESON TO SERVICE THE	□ 長の後期で北海等は下午起手・極端対策的な工夫 □ 信命の他が出来りたが確立力を持ちて夫 □ 信命の他が出来りための他に力が得る工夫 □ 信念の他が出来りための他に力能等の工夫 □ 国本ドナー等の機能とす。 □ 本は上本の会響を元素と □ はなどを持続しませた。 □ はなどを持続しません。 □ はなどを表しません。 □		
		□ 日本の機能と □ 日本の機能と □ 日本の場合とは、	Bahans	□ 世界所書を対し其実施制である。 □ 世界所書を対し其実施制である。 □ 世界所書を対し其実施制である。 □ 世界所書のは「東京を対しませる」とは、自然できた。 □ 世界所書のは「東京を対しませる」とは、自然できた。 □ 生命できた。 □ 生命できた		
				「金人では、「金んでは、「んんでは、「んんでは		